

9月15日(木) 15:00~16:00 第21会場 リーガロイヤルホテル W2F 山楽2

全般的なケア(6) [座長] 大塚 彰太(介護老人保健施設アルボース)

第1群: 101 入所

第2群: 204 工夫・新たな取り組み

第3群: A3304 全般的なケア チームケア

介護老人保健施設と歯科医療機関との連携

口腔ケアと栄養改善への取り組み

介護老人保健施設 リハビリタウンくじ

障子口 豊、粒来 房子

高齢期の口腔機能低下は肺炎の発生だけでなく、栄養障害、更にはQOL低下につながる恐れがある。当施設では日本訪問歯科協会と共同し、歯科診療と福祉施設の連携体制を構築し口腔と栄養の改善を目指したので報告する

【序論】

要介護高齢者に対する口腔ケアは、気道感染予防、摂食嚥下機能向上、栄養改善等に有効であると同時に、その重要性はすでに認識されている。このため平成21年度の介護報酬改定時には施設入所者に対する口腔ケアの促進を目的として、口腔機能維持管理加算が設定された。平成26年9月に実施された、介護保健施設における口腔と栄養の連携に関する調査研究事業報告書によると、施設入所者には摂食嚥下困難者と低栄養者が多い状況が明らかにされ、およそ半数の施設が口腔機能の維持に関心を示しており、協力歯科医療機関に対し食事に関する支援を求めている施設が多いことも分かった。さらに、歯科衛生士と施設栄養士との連携がある施設は、体重減少者が有意に少ないとの結果が得られ、歯科医療機関と栄養士の連携効果が明らかにされた。以上の結果により、平成27年の介護報酬改定では食事観察(ミールラウンド)や多職種カンファレンスなどの取り組みなどのプロセスを重視し、咀嚼機能などの口腔機能を踏まえた経口機能維持、改善を行っていくことを評価する経口維持加算の改定がなされた。

当施設では、一般社団法人日本訪問歯科協会(以下、訪問歯科協会)の協力を得て平成27年10月に口腔衛生管理体制を構築し、入所者の口腔ケアの改善を図ることともに、口腔衛生管理体制加算(改定前、口腔機能維持管理体制加算)及び経口維持加算(I)(II)の算定に結び付けることができたので報告する。

【方法】

当施設と訪問歯科協会会員クリニック及び訪問歯科協会との3者で委託契約を締結する。口腔ケアに関わる介護看護職員を対象に訪問歯科協会が作成した口腔ケアマネジメントシートを使用してアンケートを実施し、口腔ケアに関する施設の課題を抽出する。施設職員による口腔ケアリスクのスクリーニングを行い、訪問歯科検診の実施対象者を選択する。後日、訪問歯科医師による歯科検診を行い口腔ケアの技術的指導及び助言を得る。治療が必要な利用者に対しては、訪問歯科治療を行った。歯科の訪問日に合わせ、食事観察(ミールラウンド)を実施し、経口維持の支援を行った。

【結果】

口腔ケアマネジメントアンケートによる施設職員の課題抽出した結果、口腔ケア推進における様々な施設の課題が挙げられた。挙げられた課題としては、施設職員が正しく口腔ケアを理解する定期的な研修会を実施すること。口腔ケアに対する知識及び用具等の正しい使用方法を取得すること。口腔ケア実施困難な入所者への担当職員の配置が必要である等が挙げられた。課題解決として口腔ケアマネジメント計画に基づき歯科医師の指導の下、口腔ケア用品(歯間ブラシ、舌ブラシ、保湿ジェル等)の整備、訪問歯科協会による研修会の実施、ポスターの掲示等を実施した。

併せて利用者の口腔衛生状態のスクリーニング、食事観察(ミールラウンド)は月1回、口腔ケアの技術的指導及び助言、歯科医師

による義歯の調整や歯科治療は週1回。口腔内の様々な相談は随時行うこととした。相談件数として義歯の不具合による調整が多く、義歯の作成や歯石除去等の希望があり、週1回の訪問では利用者全員の治療が追い付かない現状にある。

歯科による口腔ケアの技術的指導及び助言により、これまで漠然と行われてきた歯磨きや口腔清拭などの口腔ケアが充分ではないことが明らかになった。利用者個々の口腔内状態を専門職の目線から見ることができ、ブラッシング技術や口腔内保湿、歯垢除去等の知識を取得できるようになった。

【考察】

限られた人的資源で施設入所者の口腔内の様々な問題に対応し、栄養障害の改善、QOLの向上を目指すには歯科医療機関との密な連携が不可欠である。今回の取組みは訪問歯科協会の協力なくして、歯科医療機関と老人保健施設の連携は難しかったと考えられる。今後は、利用者情報の共有を目的としたICT(情報通信技術)を活用し、更なる連携強化を目指したい。

今回の連携をきっかけに、歯科医師が施設に来て、歯科のサービスが受けられるという認識が利用者や家族に芽生えたように思われる。施設職員においても、口腔ケアや栄養への関心が高まってきているように思える。今後も取組みを継続して、地域包括ケアシステムの一つである高齢者の口から食べる支援の充実を目指したい。